

行事名	愛媛県人権・同和教育研究大会
日時	令和5年11月7日(火) 13:00 ~ 16:30
場所	愛媛県県民文化会館メインホール
イベント内容	<p>6か所の分科会のうち、社会教育 A に参加し、公民館の主事さんや館長さんなど4名から報告がありました。</p> <p>どの報告者も“公民館は幅広い世代の人と人を繋ぐ場所、そのきっかけ作りをしたい”という目的の元、男の料理教室やレッツ万歩という、仕事等で公民館に通えない人でも万歩計のレポートを提出すれば参加出来るという行事を考えたり、男性大学生を女性と誤って接してもらい、後でアンケートをとり LGBTQO について考えてもらったりする取組も印象に残りました。</p> <p>差別の例として、何気ない会話を聞いた第三者が傷ついたり、聞いた言葉がずっと引っ掛かり、切り替えに時間がかかったりしたことを挙げられ、良かれと思ったことも伝わらないときがある、自分との違いを知り、相手の立場に立つことが大切と話されました。</p> <p>今回の大会に参加して一番心に残ったことは、四国中央市の心を育てるための5つの取り組みです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 気持ちの良い挨拶 ② 履物を脱いだら揃える。 ③ 気持ちの良い返事 ④ 人の話を聞く。 ⑤ 自分の意見を人に伝える。 <p>という目標を掲げ、市全体で取り組み、子どもより先に大人が示していく必要性を離されました。当たり前のように意識していないと続かないと感じ、まずは自分の行動から見つめ直すことが、人権問題を考えることなのだと思います。</p> <p>今回の学びをきっかけに、今後も人権について無関心でないよう心掛けたいと思いました。</p>